



おかべ かつお  
岡部 勝夫さん

板金・溶接・組立を一体化した、精密板金加工の熟練技能工。  
光学測定装置など精密機器の加工に優れている。



平成18年に引退するまで  
いろいろな製品を作っていたよ

岡部勝夫さんは  
精密板金加工の熟練技能者



住宅の外装等や  
作る建築板金や

自動車のキズや  
へこみ等を修理する  
自動車板金等があるが

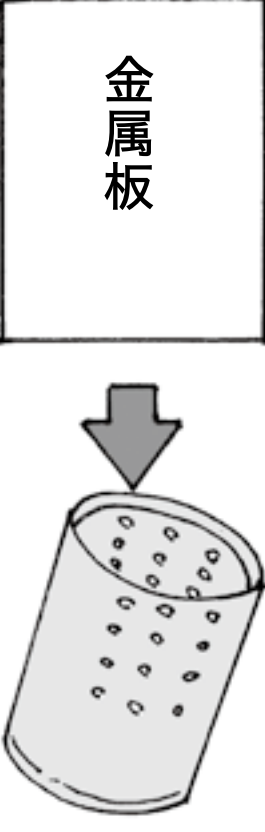


岡部さんの  
分野は

板金と溶接  
組み立てを  
一体化した

加工要求精度の高い  
精密板金を主に  
扱っていたんだよ

金属板



板金加工とは  
金属の板（アルミ・ステンレス・鉄鋼等）を  
切ったり曲げたりして製品に加工すること

具体的に教えていただくと

光学測定器

(光がまっすぐ通るようにする  
角度が少しでも悪いとダメ)

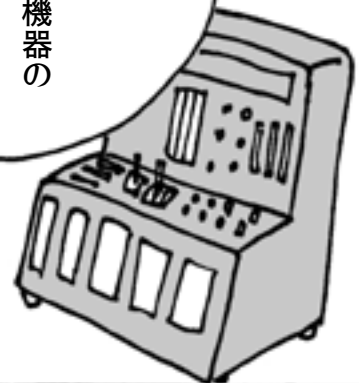
船舶機装用通信機器の筐体製作の  
筐体製作 (難度が高い)

軍需製品等の精密な部品

テレビ用のモニターテーブル  
芸術作品 (綿密な指定)、  
等々あらゆるものだね

駐車違反用「車止め」

車のタイヤをブロックする機械を警視  
庁に納めたこともあるよ



生まれは山形県庄内地方  
高校卒業と同時に上京

農業をやるのが  
どうもイヤで



羽田の先輩のところへ  
一晩泊めてもらうつもりで  
そのまま居ることに

そして仕事も  
先輩と同じところへ



そこが板金の町工場

『板金との出会い』だったんだ

結局7年半  
修行して

仕事を覚えて  
いったよ

営業も  
2年ほど  
やってね

そこでお客様との  
つながりを作ったよ



昭和45年独立  
有限会社岡部製作所を  
設立



もつとも今までの  
工場の片隅を  
借りて働いて  
いたんだけどね

昭和58年、川崎市高津区宇奈根に移転  
自社工場となる

最初は家内に  
手伝ってもらいながら  
一人でやっていたよ

初めは機械調達

精密板金はとくに  
設備投資にお金がかかる

ベンダー（板を折り曲げる機械）

シャーリング（板を切る機械）

パンチング（板に穴を開けたり加工する機械）

アルミ溶接機、スポット溶接機等々

全部揃えないと仕事ができない

最初は大変だったよ



だんだん仕事も増え  
よりレベルアップのため  
1級技能士の資格を  
取ったよ

実技試験500人  
受けて

学科試験まで  
残ったのは20数人

実技試験500人  
受けて

精密板金は  
1ミリの半分以下の  
精度を求められる

技能士なのにこんな  
変なもの作って、と  
言われたくないから  
常に勉強してたよ

常に勉強してたよ

ある会社に頼まれ  
NASAの溶接の  
実技試験も受けた

半年ごとに  
テストがあるんだよ

工場板金作業  
1級技能士  
昭和51年10月19日

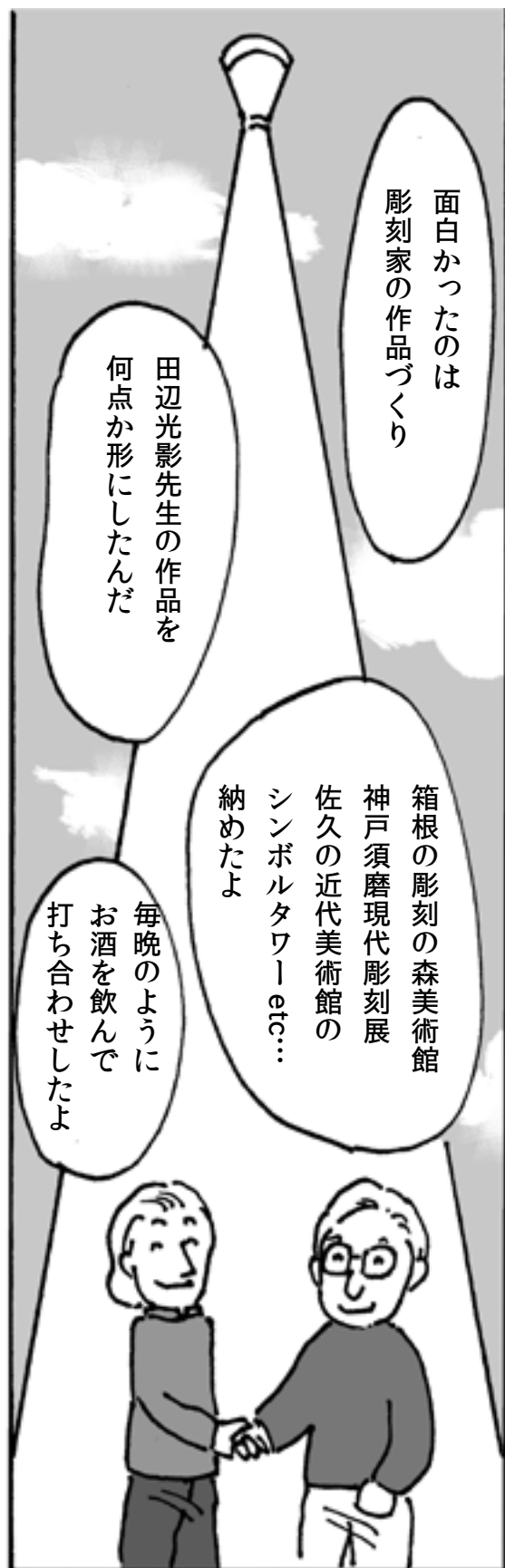
超難関

合格

精密板金の必需品  
ダイヤル式ノギス  
1ミリの  
1/10を測れる



レントゲン  
曲げ試験  
引張り試験  
割れ試験



●住所／川崎市多摩区在住  
元有限会社岡部製作所経営